

## 被災地の復興と障害

### Reconstruction from disaster and care for the disabled

阪神・淡路大震災から23年近く、東日本大震災から6年半、熊本地震から1年半が経過しました。この間、災害医学は日本において確実に進歩してきましたが、被災、避難生活、復興という流れが障害者を含む被災者にどのように影響し、それに対しどのように介入すべきかが十分に明らかになっていません。本特集では、大規模災害直後やその後の復興過程においてサポート活動をされた方を中心に、災害時の災害弱者への対応、災害に伴って新たに生じる障害、について解説していただきました。

#### 大規模災害における災害時要配慮者への対応—特に身体障がい者への対応について 富岡正雄氏ら

1185

災害時に特に配慮を要し支援が必要な高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦などは災害時要配慮者と呼ばれる。特に身体障がい者への対応について、災害発生前後の緊急避難行動、その後の避難生活に分けて具体的に解説した。また熊本地震における大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team；JRAT）の活動についても報告した。

#### 障害児と災害 田中総一郎氏

1191

東日本大震災では多くの障害者が犠牲となった。2005年に厚生労働省が各市町村に策定を求めた「災害時要援護者避難支援計画」を東日本大震災前に知っていた宮城県の障害児家族は16.7%に過ぎなかったこと、また避難所に避難した障害児がきわめて少なかったことを、要援護者に配慮した「福祉避難所」の課題とともに報告した。また普段から電源の確保、薬などの医療情報の携帯を心掛けることの重要性も解説した。

#### 阪神・淡路大震災後の復興と高齢者 長尾徹氏ら

1197

阪神・淡路大震災に被災した在宅の虚弱・障害高齢者の調査から、日常生活動作（activities of daily living；ADL）や社会的機能に独居群と同居群で差があることが明らかになった。独居群に対しては外界とのつながりを維持するためのサポートや、日常生活活動能力の低下を防ぐための努力が、同居群に対しては介護者への心身両面にわたる生活支援が必要であることを報告した。また長期的な生活再建に関し、避難所から仮設住宅、災害復興住宅への移動とそれに伴う問題点を解説した。

**3.11 東日本大震災後仮設住宅に住む高齢避難者の運動機能 矢吹省司氏 …… 1205**

東日本大震災後に福島県南相馬市の仮設住宅に住む高齢避難者に対して行った運動教室の効果を概説した。運動教室実施前には膝痛や腰痛の訴えが多く、身体機能や生活の質（quality of life；QOL）の低下が明らかであった。月1回の運動教室実施後では、痛みやQOLの改善は明らかでなかった。身体機能の一部は改善した。運動教室の頻度やプログラムに改善の余地が残った。

**災害精神医学からみる復興と障害—障害にかかわる医療福祉保健従事者に必要な知識とスキル 佐久間篤氏ら …… 1211**

災害発生時の避難、災害からの復興において、障害者はさまざまな心理社会的困難に直面し、精神的健康に影響を与える可能性がある。また障害のない被災者も、多様なストレスを被り、抑うつや心的外傷後ストレス反応を呈することがある。災害時の心理的支援のあり方としてコミュニティとの信頼関係や体の健康維持への配慮などについて解説した。また災害支援者も支援活動によるストレスから精神不調を来すリスクがあり、セルフケアを含めた対応について解説した。

<b>書評</b>	“私らしさ”を支えるための高齢期作業療法—10の戦略（評者：齋藤佑樹） …… 1228
	高次脳機能がよくわかる—脳のしくみとそのみかた（評者：松井秀樹） …… 1247
	片麻痺回復のための運動療法 [DVD付] —促通反復療法「川平法」の理論と実際 （第3版）（評者：岩瀬義昭） …… 1255
<b>お知らせ</b>	第47回日本リハビリテーション工学協会車いすSIG講習会 in 佐賀 …… 1235
	二重投稿についての注意喚起 …… 1228
	訂正とお詫び …… 1241